

情報ぎやらりー

広がれボランティアの輪

NO. 51

2010年7月号

編集・発行 NPO法人グループわ（西田圭一）
〒651-1102 神戸市北区しあわせの村 シルバーカレッジ内
TEL078-743-8101 FAX743-3830 HP <http://www.wa-net.jp>

わ



回った、回った！皿回しにはしゃぐ子供たち（写真・渡邊佳視）

ワイワイと 芝生広場に あふれる笑顔

グループわと市福祉振興協会主催の〈わいわいストリート〉が5月5日、しあわせの村・芝生広場で開かれ1200人の子どもたちや家族連れで賑わいました。昔あそび、工作、竹馬、サッカーガン、ペタンク、輪投げなど20のブースが10時にオープン。子どもたちはお目当てのブースに並び、スタッフの世話でゲームに挑戦したり、作り方を習ったり。

竹馬に乗れた、乗れたと喜ぶ子。「やった賞品ゲットや」と輪投げの男の子。「ペタンクってどう

するの」と珍しそうな女の子。こま回しや紙飛行機に熱中する親子。「わぁ、きれい」折染めに夢中のお母さん。お父さんの方が熱心な工作。午後3時の閉店まで、元気な歓声が広場に響いていました。

➤ の日、スタッフ100人は午前9時に集合。西田副理事長が「けがのないように」と開会宣言。参加証のワッペン600枚は早々とさばけてしまい、担当の道満理事は「今年は天気にも恵まれ、大勢の人が来てくれましたね」とにこやかでした。

51号の紙面

西田・新執行部がスタート p 2～5

優秀5会員・2グループを表彰 p6

エッセー「ボランティアの心」 P8・10

カレッジ短信・WA短信 P12～14

未来館 ビオトープ物語① p7

活動れぽーと P7～10

7～10月のイベント案内 P15

[目次の頁へ](#)

1

[次頁へ→](#)

地域活動にもっと力を

グループわ 第7回定期総会を開催

グループわ の第7回定期総会は5月20日、カレッジホールで開かれ、21年度の事業報告、22年度の事業計画を承認。西田圭一理事長ら新役員を選任して22年度の活動がスタートしました。総会では優秀会員の表彰式も行われ、5人と2グループが受賞しました（受賞者氏名と表彰式の模様は6面に）。

▼わ のシンボル旗の下で開かれた総会（撮影・松岡泰彦）



総会は芳賀順子さん（福10）の司会で午前10時開会。加藤勇治・理事長が「21年度は区会マニュアルの作成、表彰制度の創設など、組織運営の整備に努めた」と挨拶。来賓の南本伸一・振興協会常務理事から「地域に根付いたボランティア団体としてさらに発展してほしい」と祝辞がありました。

議長に井上堅氏（福8）を選出。「出席者は176人、委任状604人で定足数597人を上回っており総会は成立」との報告があり議事を開始。清水英暢・副理事長（美12）が21年度の事業報告、西田圭一・副理事長（生9）が決算報告をして拍手で承認されました。この報告に関連して、林会員から「わは何をしているかわからないという声を聞く。解説パンフを作ってはどうか」との提案がありました。

続いて新役員18人（別表）が拍手で承認され、理事長に就任した西田氏が「ボランティアはする方も、相手も元気になり、うれしい気分になるものだ。最近の傾向として新入生のボランティア精神が薄らいでいるのではないかと危惧している。私たちは、カレッジOBとして、次世代をになう子どもたちのために、もっともってボランティアを活発にやろう」と決意を述べました。

さらに、22年度の事業計画、事業予算を原案通り拍手で承認。11時過ぎ議事を終了しました。このあと、

【22年度の新役員】

理事長 西田圭一（生9）＝事業担当
副理事長 長谷川洸士（国11）＝企画担当
副理事長 徳増芳男（生13）＝総務担当
理事 藤田忠之（福13）＝財務担当
理事 一森美代子（福12）＝事業担当
理事 宮崎芳江（生12）＝事業担当
理事 林田周治（生14）新＝総務担当
理事 岸本 清（生14）新＝事業担当
理事 鬼村信行（国14）新＝事業・企画担当
理事 東本孝次（生14）新＝財務担当
理事 須賀悦子（国14）新＝総務担当
理事 南形 徹（生14）新＝広報担当
理事 渡辺佳視（生12）＝非常勤・総務担当
理事 道満俊徳（生13）＝非常勤・事業担当
理事 菅田忠志（生11）＝非常勤・事業担当
理事 土井昭政（国10）＝非常勤・北区会長
監事 加藤勇治（美10）

【区会長】

東灘＝長谷川博（生9）
中央＝元田弘忠（生9）
兵庫＝大掛敏夫（生7）
須磨＝細野恵久（福3）
西＝東本孝次（生14）

監事 今田紘（国12）
東灘＝長谷川博（生9）
中央＝元田弘忠（生9）
長田＝岸田重徳（国13）
垂水＝秋山雄一（国13）
北＝土井昭政（国10）

【部会長】

福祉＝加藤勇治（美10）
国際＝柳川瀬淳一（国13）
文化＝小林精一（福9）
▽環境未来館責任者＝山口俊雄（生7）
▽須磨一ノ谷プラザ責任者＝上田市夫（生10）
▽学習支援委員会委員長＝加藤勇治（美10）

退任役員12人に西田理事長から謝辞があり、新たに部会・区会長、環境未来館・一の谷プラザ責任者、学習支援委員長に選出された12人が紹介され、激励の拍手を浴びました。

午後1時から第2部のアトラクションがあり、過疎地の医療問題を取り上げた笑福亭鶴瓶主演の映画「ディアドクター」が上映されました。



新会員ふやすPR活動を

【視点】 今期は、理事長ら理事の顔ぶれが大幅に変わり、わの活動は新たなステップへ踏み出した。14期生から6人が執行部に加わったこともあり「継続した事業を展開するための新戦力」の意味があるようだ。

わの会員は1176人（5月現在）。事業規模は3400万円におよぶ。会員のうち”実動部隊”となる10期以降は約50%なので、会員獲得が一つの課題となる。

22年度予算を見ると、事業収入の大半は神戸市から受託している未来館運営と電話相談。あとは会費、講座収益、助成金となっている。支出は受託事業の経費が大半を占め、旅費交通費、事務所経費などになっており、ここ数年、傾向は変わらない。

事業関係では「似たようなイベントが多い」という声も聞く。いくつかをまとめ、より効果のあるイベントに集約することも必要ではないだろうか。「区会の活性化と子供たちへの支援を積極的に」と、目標を明確にした今総会。行政や会員など周囲の期待に応えられるよう、めりはりの利いた活動が求められている。

〈わ〉の活性化に…がんばります

役員に就任した9人の「ひと言」メッセージです。

▼長谷川洸士 グループ わ の本部役員として参加して3年。退任する時期でしたが、西田新理事長体制の中で、引き続き法人としての規定類の制定、部会の地域活動活性化対策等を推進することになりました。昨年度には9つの規定を制定しましたが、未だ十分とは言えず、最低限のルールを整備していきたい。また部会活動の再編成も検討したい。

▼徳増芳男 会員の皆さんから寄せられたボランティア活動報告（活動日数・人員・内容・場所など）は、毎月集計してホームページに載せていますが、データだけでは面白みがありません。写真なども取り入れて興味を引く活動紹介ができれば、と考えています。情報ぎやらりーも関心を持って読んでもらえるように、せめて表紙だけでもカラー印刷ができるように努力し

たいと思っています。

▼藤田忠之 わの要である財務を担当して2年目になります。実務経験も少なく、退職後の空白期間もありますが、必死で頑張っています。そのため、「挑戦者の気持ちで、前向きに努力する」、このことを常に心がけ、邁進していきたいと思っています。人生訓は「忍耐と継続です」。会員の皆様のご指導、ご協力をお願いする次第です。

▼宮崎芳江 今年は事業部担当になり、戸惑うことも多々あると思いますが、楽しくをモットーに頑張りたいと思います。私はアウトドア一派人間。年甲斐もなくゴルフ（ホールインワンが夢）やローンボールなどをしてはいますが、年々自分の体力が落ちているのが分かります。無理しないで、出来る時に出来ることをして人生を送りたいと思います。

▼東本孝次 妻（福9）の勧めでKSCに入学し、わに入り、卒業するや否やわ本部に…と妻の敷いたレール上を走らされています。他のためになろうなんて大それた考えは毛頭ありませんが健康な間は、何かの役に立つならばと微力を尽くそうと考えます。何もかも初めてのことで戸惑ってばかりですが先輩に教わって早く一人前になり、戦力に加われるよう頑張ります。

▼鬼村信行 入学当初に入会した某部会で発言した際、「グループわは、在校生が対象ではなく、卒業後のものである」と一喝されたのを記憶しております。爾来、在学中を通し一貫した連携活動が望ましいということ、機会あるごとに進言して参りました。本部役員として〈出入り口の低い、バリアフリーで楽しめるボランティア活動が出来る組織作り〉に微力を尽くしたいと思っています。

▼岸本清 継続は力なりと信じて、50歳代の筋力を70歳代まで維持するためにジムに通い、インストラクターの助言を受け、週2日3時間の筋トレを実践して体力の維持増進に努めている。

▼林田周治 KSC時代には、わの活動についてほとんど認識がありませんでしたが、メンバーに加わり、多岐に亘って活動を行なっていることに驚いています。この中で総務担当としての役割を与えられましたので、各部会、区会そして本部の各部門が連携し、活性化するように触媒的任務を果たしてゆきたいと思っています。明るく、楽しい活動にいきましょう。

▼南形徹 卒業したら絵を描こう、ジムにも通おう、モーツァルトに浸ろう、と意気込んでいましたが、ちっとも時間がとれません。残念やなあ。でも、わで新しい出会いがあるかも、と思えばそれもいいかな…、と。

再び学んで〈わ〉のために

西田理事長

ぶっちゃけ対談

新人・須賀理事

グループわ を一緒に支え、盛り立てていきましょう——新しく理事長に就任した西田圭一さん（生9）と理事に選ばれた須賀悦子さん（国14）が、わの現状・組織の活性化・課題・新しい事業について、ざっくばらんに語り合いました。結婚相談所を開いては？といったアイデアも飛び出すなど、新人がベテランに直球をぶつけた1時間でした。

わって何？

須賀 理事長就任おめでとうございます。私も理事としてお手伝いをする事になりました。よろしくお願いします。まず、



〈わ〉ってどんなところでしょうか。

西田 阪神大震災のとき、シルバーカレッジが救援基地になった。その際、在校生が始めたボランティア活動が、グループわ結成のきっかけです。その後、NPO法人になり、現在1200人ほどの会員が〈再び学んで他のために〉の校訓を受け継いでさまざまな活動をしています。

須賀 すごく大きな団体なんですね。主にどんな活動がありますか。

西田 サークルの延長としてカレッジ卒業生がやっている活動と地域活動。わの本部が、しあわせの村などと協働で実施する夏祭りなどのイベント。神戸市から運営を委託されている環境未来館などの事業——大きく分けて3つです。

子供たちを重点に

須賀 理事長としてリーダーシップをとられるのですが、活動の重点はどこに？

西田 子どもたちを対象にした活動、私たちも一緒に楽しめる活動にシフトしていきたいですね。NPO法人になって7年。会員も増えたのに、組織としてはまだバラバラです。昨年地域に目配りしようと、区会マニュアルを作り、リーダーの若返りを図った。今年から部会の再編を手がけようと思っています。

須賀 具体的には？



西田 伝統文化とか、子ども対象とか、活動目的に沿った区分け。あるいは里山のプロジェクトチームを作る、といったまとめ方はどうか、と考えています。

企画は本部で立て、実施は部会・区会をお願いするやり方もありますね。

もっと区会の活用を

須賀 地域活動の方は、区会マニュアルの整備だけで効果はありますか。

西田 歴史的なこともあって、清掃など実際の活動は地域でずいぶん違う。子供たちへのサポートも、在校生は見守りなどの学校支援。わは学習支援と2本立てになっており、外部から見ればバラバラの印象がある。将来的には、こうしたものをすべて区会のリーダーシップでやるようにしたい。

須賀 わの事業といっても、サークル活動以外はほとんど知りませんでした。子供たちの電話相談なんかにも関わっているんですね。

西田 ええ、いじめや虐待などの悩みを聞いてあげて、少しでもサポートできれば、という思いで続けています。24時間体制はきついですが、子供たちの人生を左右するかも、と思えば真剣にならざるをえません。

須賀 文化祭みたいなものを、やったらどうでしょう

●グループわ 阪神大震災（1995年）の後、在校生で結成されたボランティアセンターが母体となり97年社会還元センター（愛称・グループわ）設立。170人参加。2004年5月、NPO法人として再スタート。2010年5月現在、会員1200人。

か。わへの関心も高まると思います。西田 5月総会の第2部で、発表会みたいなものをやったことはあるが、評判がよくなかった。今年は映画（ディア・ドクター）にしたところ、多くの人が見てくれたように思う。わの活動をPRすることはとても大事です。今回スタートさせた表彰制度もその一つで、面白い提案があれば前向きに取り組んでいきましょう。

結婚相談所を開いては

須賀 ほんの思いつきですが、結婚相談所みたいなことをやってはどうでしょう（笑い）私はカレッジでいい人を見つけ、一緒になりました。夫や妻に先立たれ、一人暮らしの方はずいぶん多い。相談相手・パートナーが欲しいとの思いは、シングルになれば誰しもあります。

西田 それは面白いアイデア。ぜひ、所長になって実現してくださいよ。

須賀 アンチエイジングということからいえば、健康相談なんかもいいでしょうね。

西田 みんな何か持病を持っている世代。気軽に相談したり体力測定ができたりする場所は必要かもしれません。

同窓会・カレッジとの関係

須賀 同窓会やカレッジとの関係はどうなっているのでしょうか。よくわからないですね。

西田 同窓会もOB組織だが、こちらはNPO法人ということもあり、一緒に活動はしにくい。いま、カレッジ・同窓会・クラブ協議会・ボランティアセンター・グループわの5者で〈社会貢献を考える会〉という連絡会を毎学期開いているので、「オールKSC」という繋がりの中で考えてはどうか。校友会みたいなものなら連携は可能だと思う。

須賀 14期生が6人理事に入りました。何か期待されるものはありますか。

西田 わの活動は息の長い継続したものが多い。役員も1、2年ではなく、もう少し長くやってもらわないと。若返りをして新しい発想で組織を引っ張ってほしい、という思いです。



広報活動を充実

▲一緒に頑張りましょう。

須賀 1200人も会員がいれば広報活動は大事ですね。情報ぎゅらりーもホームページも、「よく知らない」という声が多いようですが。

西田 会員の交流・情報の共有といった面で、ぎゅらりーやHPの果たす役割は大きい。できれば2つを有機的に運用し、発行回数や内容の更新をもっと密にしたいが、現状はそこまでいっていない。まず、ぎゅらりーを〈親しまれ、読みやすい〉ものに変えていきたい。部会・区会の報告だけでなく、カレッジの動きや一般会員にも関心をもってもらえる記事を掲載し、在校生や同窓会にも配布できないか、と思っている。

須賀 結婚情報も載せれば、読まれることうけあいですよ。（笑い）ホームページは、きちんと内容を更新するなら情報収集が大変ですね。

西田 ホームページ委員会があるが、日常活動をこまめに載せる体制ができていない。技術面はOKでも企画・取材面を見直す必要はあります。

須賀 広報体制の整備はこれから、ということですね。

西田 広報誌への投稿も含め、自由にモノが言える組織、楽しく活動ができる組織になるように、協力してがんばりましょう。

須賀 いいお話を…、ありがとうございました。

（対談は6月4日。進行と内容のまとめは岸本清と南形徹が担当しました）

●部会・区会 本部のもとに5部会・9区会がある。文化部会には27、いきがい部会には7、福祉部会には8、国際部会には5、環境部会には14グループが所属、計61グループが活動している。区会は各区ごとにおかれ、在校生や自治会とも連携して清掃や見守り隊などの活動をしている。

●本部事業 環境未来館・一ノ谷プラザの運営。子供たちへの虐待やいじめ問題の電話相談。小学校の学習支援、パソコン講座のほか、しあわせの村やフルーツフラワーパークとの協働イベントなど、年間を通してさまざまな事業を展開している。

わの優秀会員5人・2グループ表彰



表彰式に臨む（左から）横山・梅谷・釜田・藤井・空閑・谷口・木原の各氏（撮影・松岡泰彦）

▼谷口博 初回の受賞に浴し、ただ感謝のほかありません。自分の好きな山野の植物を相手に楽しみながら実行してきた事柄を認めてもらったことがうれしいです。“山が喜び、木・花・草に虫・鳥なども楽しく、そこを利用する人々もまた喜ぶ”という事実に意義があると思えます。ありがとうございました。

須磨海岸の清掃活動など

長年にわたってボランティア活動を続け、グループわの優秀会員に選ばれた会員5人と2団体の表彰式が5月20日の定期総会で行われました。加藤勇治理事長から表彰状と記念品が手渡され、それぞれの活動内容がスライドで紹介されると、会場からは業績をたたえる激励の拍手が湧き起こりました。今回の表彰式は、表彰制度が発足して初めてとなるもので、受賞者は個人10人・団体4件の候補から投票で選ばれ、4月6日の理事会で最終決定しました。（選考経過の詳細は50号に）

22年度の受賞者

- ▽木原愛子さん（福祉1）＝折り紙、折り染めなど伝統文化を伝える慰問活動。
- ▽谷口博さん（生環4）＝しあわせの村内での里山の再生、保全活動の実践。
- ▽空閑義郎さん（福祉3）＝マジックを通じたボランティア活動。
- ▽藤井潤子さん（音文5）＝区会を足場にした地域ボランティア活動。
- ▽釜田弘さん（国際3）＝コーロKSCの仲間と介護施設で歌や合唱の慰問活動。
- ▽須磨海岸清掃グループ（梅谷正芳さん）＝海水浴シーズンを中心に海岸のゴミ拾いを実践。
- ▽有馬観光ガイドボランティアグループ（横山忠明さん）＝観光客相手に名所案内や町歩きガイド。

受賞を励みに活動します

▼木原愛子 60歳以降の人生の過ごし方を学ぶ為シルバーカレッジ1期生に入学し「再び学んで他のために」の精神をうけいれ、ボランティアを生活の一部として、趣味活動とクロスさせながら、気がつけば十数年が経過しておりました。共に活動しました仲間の皆様、推薦くださいました灘区会長、区会員の皆様にお礼もうしあげます。

▼空閑義郎 カレッジ2年の時、しあわせの村の趣味講座で初めてマジックの手ほどきをしました。参加者が楽しそうにマジックに挑戦する姿を見て、自分の趣味を生かして社会奉仕をしようと決意しました。それが今や70名の大きな〈わ〉に広がり、共にボランティア活動に励み、社会貢献ができてるのが感無量です。

▼藤井潤子 本日は記念すべき第1回優秀会員表彰式で賞を頂戴し誠に有難く感謝申し上げます。区会・本部運営委員会の皆様の推薦を受け、身に余る光栄です。区会では最も大切にしていたのが「会員間の和」です。訪問先の方とも仲良く、楽しくボランティア活動が出来ました。これからも永く継続していきたいと思っております。

▼釜田 弘 今回は予期せぬ表彰を受け、光栄に思っています。合唱団としてのボランティアを手探りで始め、11年余り続けられたのは団員の協力によるもので、個人名での受賞には戸惑いもありますが…。ボランティアでは常に相手の目線で接するよう心がけ、一体感を持って歌える事で、自身も活力を受けています。

▼梅谷正義 細野会長も推薦書に述べられたとおり、安全管理のみならず総局東監視員詰所は活動終了後の休憩場所として提供頂き、シーパル須磨は集合場所で許容頂いています。そして総会では第1回の優秀グループとして表彰の栄に浴し、感謝感激に胸が高鳴った次第です。改めて厚くお礼申し上げます。

▼横山忠明 阪神淡路大震災で損壊した有馬温泉の極楽寺庫裏跡から太閤秀吉の湯殿跡を発掘、そこに建設した「太閤の湯殿館」でボランティア活動を始めました。その後、観光案内所前でのガイド、まち歩きガイドと進展し、有馬温泉復興の一助として活動してきました。予期せぬ今回の受賞を励みに、より一層有馬の発展に寄与したいと思います。

環境未来館 ビオトープ物語 ①



こうべ環境未来館（西区）の名物となっているビオトープ「未来の泉」。連日、夏休みの家族連れでにぎわっているが、オープンから7年目を迎えるのを機に、生い立ちなどを紹介する「未来館・ビオトープ物語」を3回に分けてお届けしよう。

池掘り、魚も採って…手作りだ

ビオトープづくりが始まったのは、未来館が開設された平成16年6月。神戸市の協力でグループわの中島洋吉さんらが中心となって ①費用をかけず市民の手作り ②リユース・リサイクル品を活用する ③市民が生物と触れ合える場所に ④地域の生き物・植物で出所のはっきりとしたものを移入 ⑤雨水や自然エネルギーを活用する——など5項目のコンセプトを決めた。ドイツ語でビオは生物、トープは場所。「野生生物の生息空間」という意味の環境用語だ。

当時、神戸市では「学校ビオトープ」の整備が進められており、未来館のビオトープはそれらのお手本にしようとの狙いがあった。作業の手順は、

- (1) 機械による荒掘
- (2) ゴムシートが貼れるように池を整備（手作業に

より池の形づくり・石拾い・面の仕上げ)

(3) ゴムシート貼り（池いっぱいにもゴムシートを広げ土をかぶせる。ゴムシートは三ツ星ベルトの提供）

(4) 循環水路づくり（ゴムシート貼り）と点検台および渡り歩廊の取付け

(5) 水の循環の電力供給用として太陽光発電および風力発電設備の取付け

(6) 未来館周辺の河川の支流や草地から生物・植物の移入（業者や園芸店から購入したものは入れない）

【生物】メダカ、ヌマエビ、ドジョウ、カワナ、ヤゴ、タニシ、シジミなど【植物】ヒシ、オニビシ、ガマ、ヒメガマ、フトイ、セリ、ジュンサイ、スイレン、ハスなど



作業には子供たちも含め延べ240人の市民が参加。十数種類の植物や魚・昆虫類を移入して10月5日に完成、お披露目となった。その後、神戸市内では小学校166校のうち約110校でビオトープが作られたが、その多くは管理がうまくいかず、ザリガニなどの住処になってしまっている。そうした中で、〈未来の泉〉だけはビオトープ本来の機能を保ち、環境教育に役立っているのが自慢だ。（写真は池掘り作業中の市民たち＝平成16年夏）（環境未来館 山口 俊雄）

●親鳥の愛情度？調査結果

子育て最中のシジュウカラの親鳥は外敵の襲撃を避けるため、白いゼリー状の袋に包まれたヒナのフンを近くには捨てないが、どこまで捨てに行くかの調査にチャレンジ。（こんな珍調査は日本初？世界初？）5/18と5/28の2日間、10名の仲間とP2とP4の駐車場で実施。

その結果、駐車場に人や車の動きのある時には巣箱から100m以上遠方へ、人等の動きのない時には巣箱から30-40m離れた駐車場の道路上に捨て（危険物？の車上には捨てない）、その後近くの樹でヒナの餌となる虫を採取することが判明。ヒナを懸命に育てる親鳥の愛情の一



端が分かった感じ。来春も継続調査をしたい。観察・調査には北邨、井口、井上、川上、福田、高島、多賀、三浦、柳田、茅中が参加した。

●イタチごっこ始末記

「情報ぎやらりー・50号」で、しあわせの村・P2駐車場周辺の巣箱が冬期にイタチに襲われていることをお伝えしました。その後猫避けの突起付きプラスチックネットを針金でつなぎ、巣箱の下の樹の幹に巻きつける方法で6巣箱に取り付け、その効果を見守りました。どうやら効果がありそうで一安心。写真はイタチに巣穴を噛み広げられた後、突起ネットを付けた巣箱です。その後シジュウカラのヒナが無事巣立ちました。（野鳥と自然観察会代表・茅中英一）

ボランティアの心

子どもたちと一緒に

毎週木曜日は私の楽しみにしている日です。

その日は養護学校小学部の図工授業サポートに行く日だからです。個性豊かな、いろんな子ども達を見守りながら一緒に授業を楽しんだ後、教室の後片づけをして帰ります。

私のニコニコ顔と子どものニコニコ顔が出会った途端、チュー！をしてくれる子どももいます。

「すみません、この子チューが大好きなんですわ」と先生。（ハイ、私も大好きです）（笑）

図工の時間が始まると、ひとりずつ能力が違います。クレパスをなんとか握ることが出来る子、ていねいにカラフルに塗り上げる子…。先生は1人で2人ずつくらい見守りながら、皆の能力に合ったほめ言葉をかけて、やさしく接していらっしやいます。

将来、社会参加が出来そうな子どもには、物事の



善悪をはっきりと示唆し、厳しく指導されることとです。また、ある時、私の見守っていた子どもが、クレパスの巻き紙を全部破っていったのですが、私は「面白いの？むくのが大好きなんだね」と笑っていました。しかし、後から側に来られた先生は「皆が使うものだから破ったらダメよ」と注意されました。するとその子どもは、ひっくり返って足をバタバタとして暴れはじめました。先生は、大人が別々の対応をすると、どうしていいかわからなくなってパニックになるのです。同じ叱り方をしないとダメなのですと教えて下さいました。

このボランティアをしようと決めたときは、私にできるのだろうかと不安であり、勇気もいりました。でも今は、一緒にやってくださいませんか？の声かけをして（引きずり込んで？）仲間が5人に増えました。思えば阪神大震災直後の救援活動からずっと、何らかの活動に参加させてもらっています。

これからも灘区というローカル線で、この指とまれと声をかけながら、出来ることをやっていこうと思います。 飯井冴子（元グループわ事務局）

「賀川記念館」で語り部

著名な評論家大宅壮一は賀川豊彦を近代日本最大の人物と評した。ノーベル平和賞に3回ノミネートされ、ノーベル文学賞にも2回ノミネートされました。戦前の海外ではガンジー、シュバイツァーと共に世界の三大偉人とまで評された。それにもかかわらず、没後年月と共に「忘れられた人物」となってしまった。何故？



賀川が神戸で活動を始めて100年目の2009年に記念館のある神戸、東京および徳島で「賀川豊彦献身100年記念事業プロジェクト」が展開されました。

賀川豊彦の精神と実践を学び、それを多くの人に知らせて、共に生きる社会を目指すために役立てたいとの思いがプロジェクトの目的です。

その目的のために賀川記念館が再建されました。記念館は全て、デジタル化された映像により、賀川豊彦の精神と実践を知ることが出来ます。入口の大きなスクリーンで彼の生涯と活動の様子が一覧表で見られます。「愛は私のすべてである」「自分を捨て人のために為す」——分かち合いの社会、共に生きる社会を目指した実践の歴史を表わしています。

多くの分野で活動し、今の社会の仕組みの基を作り上げました。救貧と地域福祉、生活協同組合運動、労働組合運動、農民運動と共済運動、関東大震災救済、教育と医療、平和と人権と共済、教会活動と、各ブースに分かれていて映像と資料で活動の内容が判るようになっていきます。生涯300冊余りの著述を書きましたが、多くの蔵書が展示されると共に、パソコンより知識を得る事も出来ます。記念館では館内の説明と質問に答えるために「語り部」として、グループわ会員とカレッジ在校生の6人が活動しています。ぜひ、見学に来てください。 横井幸雄（福祉部会）

賀川記念館 月曜休館 神戸市中央区吾妻通5-2-20
(三宮より東へ徒歩15分、葺合警察署西) Tel. 221-3627

賀川豊彦 記念碑の除幕式と生誕祭

賀川豊彦の生誕地・中央区島上町1丁目の歩道に「生誕の地記念碑」が完成し7月10日、今井鎮雄シルバカレッジ学長ら関係者で除幕式が行われました。

また同日、賀川記念館では生誕祭があり①記念館周辺のゆかりの地を歩く「賀川ウォーク」②記念講演「賀川豊彦のソーシャルワーク」（近藤哲郎・関西福祉大准教授）③映画「死線を越えて」の上映などの記念行事が行われました。

活動レポート



特別支援の体験発表

今年度第1回目となる「学習支援者の集い」が4月20日、カレッジ学習室で開かれ登録者ら50人が参加しました。中沢委員長に代わって新委員長に就任した加藤勇治さんが、①実活動者の拡大②支援内容の充実③支援者のスキルアップ、に重点をおいて活動していきたいと挨拶。特別支援の要請が多いのに、これらにできていない現状などが取り上げられました。

特別支援とは日常どんなことをしているのか…教室風景や校外授業のビデオ映像を使った体験発表もあり、参加者には大いに参考になったようです。環境教育の教材として作成された『ノリカちゃんとコウノトリ』（14期生の作品）のビデオも上映されました。小学校に寄贈し、子供たちに見てもらおうとの狙いで、支援活動の幅を広げる試みの一つです。



フラワーパークに飾られた七夕の笹飾り

七夕祭り裏方さん奮闘

フルーツフラワーパークの七夕祭り（5日）。昔あそびの会員は17期生も交えた23人。8時30分にわの本部スタッフとカレッジを出発して12時オープンに備えた。1本の笹に5～6個の折り紙や切り紙、チョウチンなどを付けるので、200本



私のボランティア日記

むかしあそび研究会 田邊瑩子(福12)

6月13日(日) 雨。神戸実業学園(兵庫区)の学園祭に30人で参加する。10時頃から、激しい雨となり、テントは水浸し。七夕かざりも無残に変形、笹竹に飾ることもできない。やむなく予定のメニューを縮小し、会員は交代で学園祭を見学することにした。

私が足を止めたのは、「アロマろうそく・無料体験」。空き瓶に着色用のクレヨンを少量けずりいれ、湯煎にかけた使いふるしの油(凝固剤が入っている)を適量注ぎ、好みの香りエッセンスを数滴入れ、割り箸にはさんだ芯を瓶の口に渡し、固まるまで10分位待つて完成！さらに嬉しかったのは、折り込みチラシや包装紙を再利用した可愛い手作りの手さげ袋に入れてもらえたこと。そうだ！「手作り手さげ」を、「折り染め」で作ったら、すてきになるかも？

帰宅後、丁寧に解体し、寸法をはかり試作にとりかかった。和紙なので水気には弱いけれど、お菓子や小物を入れてプレゼントしたら喜ばれそうな物が出来あがった。これは8月の行事に提案しよう！

の笹にはざっと1000個の飾りがいる勘定。ひたすら折る、切る、作るの作業を3時間。「あぁしんど。手が痛くてしびれたわ」。糸車の皆さんも熱演でした。絵本の朗読、「〇△□な～にかな」のクイズ、紙芝居の3本立てで2回の公演。いずれもホールの50席は埋まり、子供たちの拍手と笑い声が絶えませんでした。梅雨の晴れ間に青空がのぞき、子供たちの笑顔に疲れもふっとんだ1日でした。

男声合唱団が10周年コンサート

創立10周年を迎えたKSC男声合唱団のコンサートが5月22日、神戸文化ホールで開催され、洗練されたハーモニーで大ホールを埋めた満員の聴衆を魅了しました。プログラムは4部に分かれ、軽妙な司会で世界の歌や日本の歌、花にちなんだオリジナル曲など19曲を披露。合唱団創立時のメンバー7人による黒人霊歌、客席と一緒に歌う「花の街」、カエルの鳴き声がユーモラスな「筑波山麓合唱団」など工夫を凝らした曲の演奏や3度の“衣装替え”といった楽しい演出も目を引きました。「感動を分かち合いたい」(川合実行委員長)という願い通り、客席もくつろぎ、大いに沸いた1時間半でした。

ボランティアの心

趣味生かすボランティアを

阪神・淡路大震災の後、ボランティアの活躍が目立ち、その年はボランティア元年と言われていました。ボランティアとは何でしょう。ボランティアは第三者に対して希望する事に金銭・物品以外で手助けすることと私は理解しています。如何でしょうか。

手助けの内容は千差万別となり、個人一人、一人では対応できるものではありません。グループは、社会人として長い間苦勞してきた人々の集団ですので、それこそ千差万別の集団です。加えて「再び学んで他のために」の心を持っています。

私の所属する東灘区では、特別養護老人ホームでの、歌の訪問、書道指導、ふれあい喫茶の手伝い、入所者との碁の相手、麻雀の手助け、幼稚園での食育・園児と野菜作りと多様な場で毎月協力しています。



クラブケナフの会では子供たちにケナフ紙すきをしながら「モットイナイ」「温暖化防止」を訴えています。また、グループ内ではありませんが、梅一つ火会では梅普及活動、地域福祉センターHP作成、パソコン教室です。

ボランティア活動で相手から元気をもらう、とよくいわれています。信用していませんでした。

参加してみると老人たち（私も老人ですが）、児童たち、地域の人との会話から確かに元気をもらっています。企業人時代での会話とは全然違います。ストレスも溜まりません。

最近グループ内に入会される方、ボランティア活動に参加される方が減っています。一方、趣味活動には積極的に多くの方が参加されています。その趣味を生かしてぜひ、ボランティア活動に参加しませんか。

残念なことですが、最近行政、業者がボランティアは安直な労働力と考えている節があります。対抗するには、やはりグループ内を中心として活動する必要があると考えています。

長谷川 博（生環 9期）

須磨区会が活動フォーラム

6月24日（木）、一ノ谷プラザで須磨区会の「地域活動フォーラム」を催した。任意参加という形をとったので会場が埋まるか不安があったが、幸い45人の来場を得た。区会員のほぼ4人に1人が参加したことになり、区会最初の行事としては成功だったと考える。

プログラムは、5つの活動グループのパネリストが発足の経緯や現状の課題を語り、さらに質疑応答や意見交換をおこなうという2時間の内容で、司会は私が務めた。

須磨海岸清掃グループの梅谷正芳氏（国2）はわの表彰制度の第1回受賞が力づけになったこと、NP0須磨歴史倶楽部の川島清一氏（生4）は区の観光行政の一翼を担い町おこしにも寄与していること、児童見守り横尾ダーツクラブの井林良幸氏（生10）は小学校のゲストティーチャーとして、特にビオトープ整備や稲作指導に経験を生かしていること、シルバーカレッジ友が丘クラブの菅田忠志氏（生11）は同窓会の枠を超えて地域全体に健康ウォークを普及させたことや、メンバーの結束に会費制が役立っていること。

また、ぐる一ふ峠（神港園サニーライフ白川ボラ

▼活動報告をするパネリスト



ンティア）の私、細野恵久（福3）は10年余の活動を経て今ではむしろ施設の信頼に支えられていること——をそれぞれ紹介した。

グループのメンバー構成を見ると、地域活動ならではの特徴がよく現れている。すなわち、わの会員に限る（海岸清掃）という条件がある一方、会員かどうかは問わないがカレッジ仲間だけで（友が丘）とか、さらには地域の方々も加えて共に（歴史倶楽部、横尾ダーツ、ぐる一ふ峠）、というように多様である。活動を通じて目的や内容に適応した形に進化してきたといえるだろう。どのグループにも共通の課題は後継者の確保といえそうだ。パネリストの報告には、〈新会員への期待〉がにじんでいた。

（須磨区会長 細野恵久）

「読みやすく、充実した会報に」

読者アンケート結果

読みやすく、内容の充実を——広報委員会が5月に実施した読者アンケートで、こんな声が多く寄せられました。回答者のほとんどは、情報ぎやらりーをよく読んでおり、会報が会員間の交流に一定の役割を果たしていることがわかりました。しかし、回答者はわずか53人で、会報への関心がきわめて薄いという事実もうかがえる結果となりました。アンケートは会報第50号に設問用紙を折り込む方法で実施。集計の概要は次の通りです。（広報担当）

大半の会員が「読んでいる」

- 回答者のほとんどが会報を知っており、「時々読む」を含めるとほとんどの会員に読まれている（96%）ことがわかりました。「よく読む記事」は部会・区会報告、本部のお知らせ、イベント報告などでした。
- ホームページ。認知度は高く（70%）、会報を読むだけでなく、HPにも目を通す人が多いことがわかりました。
- 発行回数は現行の年4回への支持が大半ですが、「年6回くらい」という意見や、逆に「減らせ」という声もありました。
- 『情報ぎやらりー』というネーミングについては「今のまま」が70%。「変えてほしい」「誌名を公募する」が30%ありました。
- 会報の内容・体裁について。「現状でよい」が半数強あった反面、「読みやすくして」「文字が詰まり過ぎ」「新しい企画を」といったコメントも数多くありました。「印象が暗い、堅苦しい」「印刷が悪く写真が不鮮明」といった印刷面への意見、カラー化の要望もありました。

ボラ活動に関する企画を

- 新しい企画としては、「ボランティア体験記など、仲間の活動ぶりを取り上げてほしい」「ボランティア先進国のレポートを」など、ボランティアに関する要望が目立ちました。インタビューやコラム、新しい連載などを望む声もありました。
- 編集協力について。「原稿を書いてもよい」「情報提供ならしてもよい」との回答が65%ありました。もっと積極的にご自分の氏名まで明記された方、手伝って

もよい、と書かれた方も5人。何らかの形で編集を応援してやろうとの気持ちの現れ、とみることができ、広報担当にとっては、心強い限りでした。

誌面改革への意見・提案39件

ぎやらりーへの意見・要望は回答者の半数、27件あり、企画の提案も12件ありました。主な内容は——

- ▼印刷をもっと美しく。写真はカラーにしてほしい
- ▼文字を大きく。みんな老眼なので
- ▼表紙は絵かイラストの方が軟らかくてよい
- ▼取材・編集技能の向上を
- ▼ぎやらりーという誌名を変え、わにふさわしいものを公募してほしい
- ▼地域交流の記事がほしい
- ▼旅行記や文芸も
- ▼写真をもっときれいに。
- ▼もっと魅力的な表紙に
- ▼ぎやらりーと在校生の爽風を同時発行して連携を
- ▼イベントの日程表を見やすく。
- ▼わに、入りたくなるような企画を
- ▼HPの開き方を会報で教えて。



会報をやめHPに移行できないか▼HPはもっと内容の更新を▼編集係の人に感謝▼編集スタッフの充実を。

【設問と回答数】（配布数1200。回答数53。回収率は5%弱。数字は回答実数。複数回答含む）

- ① 情報ぎやらりーを知っていますか（知っている51、知らない2）
- ② 読んでますか（よく読む42、時々9、読まない2）
- ③ 発行回数（現行でよい38、隔月5、その他3）
- ④ 紙面体裁・レイアウト（現状でよい36、変える15）
- ⑤ 紙面内容（現行でよい32、新しいを18、写真を8）
- ⑥ 誌名は（現状で36、変える5、公募9）
- ⑦ 編集協力は（積極的に1、頼まれたら寄稿22、情報提供なら10）
- ⑧ ホームページ（知っている36、知らない8、よく読む1、時々1）

【写真】5月20日のわ総会。アンケート回収率は低調だった…

読者の皆さま アンケートにご協力ありがとうございました。「ぎやらりー」へのご意見・提案は電話・メール・FAXでいつでもどうぞ。
TEL 743-8101 FAX 743-3830
E-mail wa_gallery@wa-net.jp



17期生451人が晴れて入学

平成22年度の入学式が4月9日、カレッジホールで開催され7コース・専攻で451名がカレッジの仲間に加わった。今井鎮雄学長は「今や日本は超高齢化の進行で困難な時代を迎えようとしている。皆さんの経験・技術を再び社会のために生かしてほしい」と緊張した面持ちの新入生を激励した。ロビーには各クラブ・サークルのポスターが所狭しと張り出され、先輩たちが懸命に入会を呼びかけていた。



コース別の入学者は健福107、国際107、生環77、美工39、音文40、園芸41、食文40名だった。健福は2年連続で定員をオーバーしたが、生環が大きく落ち込んだのが目立った。

14期生351人が卒業

14期生の卒業式が3月19日、カレッジホールで行われ、351名が卒業証書を手にも思い出の学び舎を巣立っていった。14期生からはパソコン2台、プロジェクター2台の寄贈があった。コース別の卒業生は福祉52、国際91、生環80、美工23、音文39、園芸38、食文28名の計351名。入学時は430名だった。

卒業式に先立って、2月17日の音文を皮切りに、3月8日～12日にかけて各コースでは盛大に歓送会が開かれ、在校生と卒業生が会食をともにしながら、アトラクションやクイズ、合唱を楽しんだ。

ボランティア報告会を開催

第15回ボランティア活動報告会が6月16日、カレッジホールなどで開かれ26グループが日ごろの活動ぶりを披露、満員の会場からは惜しめない拍手が送られました。午前10時開会。今井学長のメッセージのあと、ふれあい系13グループとグループ〈わ〉が映像を使って活動を紹介しました。昼休みを挟んで芸能系13グループが歌や踊り、ダンス、楽器演奏、マジックなどのパフォーマンスを次々と披露。客席から喝采を浴びていました。

ふれあいホールでは、各グループによるパネルの掲示、作品の展示即売が行われ終日多くの人たちでにぎわっていました。玄関前での花苗販売、



車椅子のお客さんも増えて

紙すき実習、お茶の体験教室なども好評でした。

今年は施設からの招待客が大幅に増え、49人も来訪。「車椅子で連れて来てもらってよかった」と楽しそうでした。

松本・梶野コーディネーターら退職

事務局で新年度の人事異動があり、松本容子支援リーダー、松本朱実・梶野順子コーディネーター、本田智徳・谷口亜紀さんの5人が退職された。新しい担当者は次のとおり。

▽学生支援リーダー 萩原哲（5月17日付けで松井幹夫が就任）
▽コーディネーター・国際 田川由紀
▽生環 北尾進
▽生環担当事務 加藤美知子
▽園芸 前垣静香
▽食文 大西陽子
▽スポーツ 加藤智代（敬称略）

（爽風5～7月号の記事から抜粋、要約したものです）

情報ギャラリーへ寄稿のお願い

52号(10月号) 締め切りは9月17日

グループわの広報誌『情報ギャラリー』に情報提供、寄稿をお願いします。

▽活動レポート 部会・区会の活動レポートを寄稿してください。内容によって500字～800字。写真だけでもかまいません。

▽私のボランティア日記 個人のボランティア報告や感想。500字程度。写真も可。

▽情報提供 イベントや展示会などの予定、報告をお寄せください。300字程度。写真も可。

▽自由投稿 旅行記や健康法、読書、コンサートの感想、エッセーなど。500字～800字程度。イラスト、写真だけの提供も歓迎。

▽52号（10月上旬発行）の締め切りは9月17日（金）。連絡先を明記して電子メールの添付文書で下記へ。FAXも可。

電子メール wa_gallery@wa-net.jp

FAX 078-743-3830 TEL078-743-8101

誌面に掲載した記事などはグループわのホームページに転載します。ご了解ください。



入学式の写真を販売

4月10日の入学式では、わのスタッフ60人が駐車場の整理、入学式の写真撮影などに活躍しました。写真



撮影では7コース・専攻の新入生451人を手際よく誘導、天気にも恵まれスムーズに撮影を終えることがで

きました。写真は例年並みの341枚を販売、5月4日に本人に手渡しました。

わグラウンドゴルフ

グループわの親睦グラウンドゴルフ大会が7月1日、村内の球技場で開かれ各地区会やサークルから22組66人参加、炎天下で熱戦を繰り広げました。有馬観光Bチームが健闘、個人・団体戦を制し、みごと優勝しました。

成績次の通り。【個人】①岩槻正義 (38・有馬観光B) ②五味勝康 (39・手話コーラスC) ③東本敦子 (40・

♪ コーロKSCが秋に演奏会 ♪

混声合唱団コーロKSCは10月20日(水)、神戸文化ホール・中ホール(18時開演)で第6回定期演奏会を開きます。男声合唱団が賛助出演し、「アヴェ・ヴェルム・コルプス」「赤とんぼ」「ビリーブ」「旅」など名曲の数々を披露します。入場整理券のお申し込み・問い合わせは、往復はがきに住所・氏名・電話番号・希望枚数(1枚か2枚)を記入して下記まで。〒654-0142 神戸市須磨区友が丘7-128 桑原浩 (080-6146-6920)。

楽遊クラブ銀雅、秋に100人打ち大会

10周年を迎える銭太鼓 楽遊クラブ・銀雅(三木善隆代表)が11月13日(土)午後から、しあわせの村の研修館ホールで〈100人打ち大会〉を開催します。現役、子供たちを含め約100人が出場。今回も自分たちのオリジナルの振り付け曲を含め、20曲余りの銭太鼓を披露します。どなたでも観覧でき、入場無料。問い合わせは三木 (078-821-1224) まで。

私のボランティア日記

花山梅林会 徳原尚世

6月24日 晴れ 今日には年に一度の、文字通り梅の実(日頃の労力の成果)を採る日なので、朝から脚立、袋、軍手、お茶、おやつなどを車に積み込んで出発。

事前に小学校の児童が梅ジュース、ジャム用に採取した残りを、梅林会員で山分けと言う手はず。残り物でも十分に福ありで、欲が意欲を後押し?

脚立そっちのけで、よわいン十歳にして、木によじ登り、棒で叩き落とし、ン十キロは収穫!

本日不参加の会員のみなさまには、分け前がなく申し訳ありません。せめて、梅干に変身してお茶請けに or 梅サワーとして夏の厳しい作業時のノドを潤すくらいでご勘弁いただくことに。

後は有志で、山菜採り名人の案内で今が旬のマダケの採取に。これもほどほどの収穫あり。今日は作業抜きで野山の恵みに浴した半日でした。

西区会B) 【団体】①有馬観光B (117) ②北須磨 (129) ③西区会C (130)

「リハ きずな」が10周年記念誌

老健施設「リハ・神戸」(しあわせの村内)で介護ボランティアを続けている「グループ・リハ きずな」(江田正子代表・音文4)が、このほど10周年記念誌を発行しました。県知事・市長・今井学長のメッセージ、きずなメンバーの体験報告、利用者の感想文、活動風景の写真、資料など多彩な内容で、B5判36ページ。リハでの活動にかけるメンバーの思いが伝わってきます。300部を印刷、公共施設などに寄贈したということです。

グループわ 創立記念日

7月22日はグループわの創立記念日。初期の役員と現役役員ら39人がパレス神戸(中央区)で懇親会を開催。〈わ〉ができて13年、NPOになって7年の歩みを振り返りながら今後の飛躍を誓いました。

前期パソコン講座終了

グループわが運営する前期パソコン講座(5月~7月)が終了。5コースで計88人の受講者がありました。この講座は卒業生が講師を務め、10日間(10回)11000円で受講できるもので、パソコン初心者に人気です。コース別の受講者は次の通り。()内は受講者数。▽入門(16)▽基礎ワード(23)▽応用ワード(24)▽メール(17)▽デジカメ(8)。後期(9月~12月)にも開催予定。

WAからのお知らせ

学園祭バザーに 物品提供を

学園祭実行委員会は、10月16日に開かれる第16回学園祭のチャリティーバザーへの物品提供を呼びかけています。9月6日（月）から9月30日（木）まで、事務局横のロビーで担当者が受け付けます。対象は日用品・衣料・袋物・食品・陶器・置物・装飾品・ビール券・切手・テレカなど。すべて新品で、食品は賞味期限内のものに限ります。



学習支援をやってみませんか

小学校で子供たちの学習支援をするボランティアをやってみませんか。7月現在、55校から「ぜひ、来てほしい」との要請がきています。資格は必要ありません。ハンデを持つ子供たちのお手伝いをする特別支援、教科の学習支援、昔遊び、戦争体験の語り部など。子供たちのために、人生体験を生かしませんか。わ本部にご相談ください。

〈わ〉の会費(年1500円)の用途

皆さんに収めていただいた会費(1人1500円)は次のように使われています。

- ①ボランティア保険代として500円(33%)
- ②部会への活動費補助1人あたり400円(27%)
- ③区会への活動費補助1人あたり400円(27%)
- ④年4回発行のぎやらり送料 200円(13%)

〈ぎやらりー〉広報委員決まる

新年度から活動していただく広報委員が決まりました。(7月10日現在、敬称略)

【部会】柳川瀬淳一(国際) 茅中英一(環境) 寄藤忠彦(文化) 岸田富雄(いきがい)

【区会】久保正志(中央) 大掛敏夫(兵庫) 徳原尚世(北) 細野恵久(須磨) 秋山雄一(垂水) 水野俊夫(西) 【施設など】山口俊雄(未来館)

【一般】宮里寿子(北) 堺寿代(西) 宮城智子(兵庫) 胤艸武宏(北)



〈わ〉事務局お盆休み

8月9日(月)~13日(金)はお盆でカレッジが閉鎖されますので〈わ〉本部も休ませて頂きます。

児童虐待について思うこと

最近、児童虐待に関する新聞記事をよく目にすることがありますが、グループ〈わ〉としても、ボランティア活動の一つとして、虐待が悲惨な結果にならないように、ささやかですが、神戸市の関係者の方たちのお手伝いをしています。

つぶやき

そんな関係で、虐待防止に携わる方達の活動を垣間見ることがあります。プライベートな問題ですので、実態があまり表に出ることがありませんが、イジメ問題も含めこの種の問題に携わる役所の方達も昼夜を分かたず大変な苦勞をされています。そんな苦勞を知ってか知らないでか、行政の責任は重大ですと訴える人達もいますが、その前に虐待が起こらないよう努力されているケースワーカーの先生や、事情で子供たちを預かり、勉強が遅れないように指導したり、優しく心のケアに努めたりしている先生方の実態を、少しでも知る努力をされた方がよいのではないかと、私は思います。(徳増芳男・生13)

編集後記



〈読みやすく、親しまれる誌面に〉。

読者アンケートの声を生かそうと、今号(51号)から『情報ぎやらりー』のリニューアルに取り組んでいます。企画・取材方法・写真・記事のスタイル・レイアウト・印刷など、見直すべき点は多々あります。何より、もっと広範囲な情報が載らないと、読者の興味をひくことはできません。

部会・区会にお願いして、広報委員を選出してもらいました。個人として、委員に名乗りを挙げてくださった方もいます。こうしたパワーを結集して、情報収集・編集のレベルアップを図りたいと考えています。いずれホームページにもその成果が反映できれば、と思っています。

こうした改革は、読者の皆さまの支持がないと成功しません。先ごろの読者アンケート回収率は5%弱でした。〈わ〉として、かなりの手間暇をかけて発行している広報誌なのに、読者の関心はきわめて低いのが現状です。まずは、51号をご覧になって、ご意見・感想をひと言、お聞かせください。委員として協力してやろう、という方も歓迎します。(編集担当・南形徹)

◆久保知彦氏(生8)の「季節の草花」は20回で終了します。長い間のご愛読ありがとうございました。

〈わ〉のメルアド変更しています。わ本部 group_wa@wa-net.jp ぎやらりー wa_gallery@wa-net.jp

グループわ 7~10月のイベントガイド

開催日時/場所	テーマと内容 (参加方法)	交通・問い合わせ先
7月31日(日) 10:00~15:00 こうべ環境未来館	水を知る実験教室 (希望者) 水のろ過実験や電気分解	神鉄「木津駅」徒歩5分 環境未来館 995-3196
7月31日(日) 16:00~19:00 しあわせの村	しあわせの村まつり (自由参加) いろいろな遊びにチャレンジしよう	しあわせの村内 グループわ 743-8101
8月1日(日) 12:00~15:30 フルーツフラワーパーク	夏休み工作教室 (自由参加) 宿題にぴったりの工作教室	J R「三田駅」無料バス フラワーパーク 954-1000
8月1日(日) 10:00~15:00 神戸シルバーカレッジ	親子サマースクール (自由参加) 食文化、命の話、マイ箸づくり	しあわせの村内 グループわ 743-8101
8月8日(日) 10:00~15:00 神戸シルバーカレッジ	かえっこバザール (自由参加) 不用になったおもちゃの交換会	しあわせの村内 グループわ 743-8101
8月8日(日) 10:00~15:00 しあわせの村研修館ホール	夏休み工作塾 (自由参加) いろいろな作品づくりに挑戦しよう	しあわせの村内 グループわ 743-8101
8月11~15日 10:00~15:00 水の科学博物館	夏のイベント (自由参加) 日替わりで昔遊びや栞づくり	市バス「楠谷町」下車すぐ 科学博物館 351-4483
8月22日(日) 10:00~15:00 こうべ環境未来館	夏休み宿題お助け隊 (希望者) 木工工作やリサイクル工作	神鉄「木津駅」徒歩5分 環境未来館 995-3196
8月23日(月)~27日(金) 国際コンベンション協会催事場	日本伝承文化交流 (一般参加不可) 和風喫茶、生け花、書道、着付け、昔遊び	ポートライナー市民広場下車 協会 303-0090
9月5日(日) 11:00~15:30 フルーツフラワーパーク	果樹園散策 (自由参加) 実りの秋を体感しよう	J R「三田駅」無料バス フラワーパーク 954-1000
9月19日(月祝) 11:00~15:30 フルーツフラワーパーク	昔遊びフェスティバル (自由参加) 昔懐かしい遊びを体験しよう	J R「三田駅」無料バス フラワーパーク 954-1000
9月23日(木祝) 10:00~15:00 こうべ環境未来館	ワケトンと一緒に地球を教え (希望者) ゴミの学習とラーメンづくり	神鉄「木津駅」徒歩5分 環境未来館 995-3196
10月11日(月祝) 11:00~15:30 フルーツフラワーパーク	人形劇と大道芸 (自由参加) 子供向けの人形劇と大道芸を楽しむ	J R「三田駅」無料バス フラワーパーク 954-1000
10月14日(木) 10:00~15:00 しあわせの村	グラウンドゴルフ大会 (自由参加) オープン参加のゴルフ大会	しあわせの村内 グループわ 743-8101
10月23日(土) 10:00~15:00 灘浜サイエンススクエア	ドキドキの自然体験 (希望者) 来て見て触って自然がいっぱい	阪神「大石駅」南東徒歩15分 環境未来館 995-3196
10月31日(日) 10:00~15:00 フルーツフラワーパーク	里山探検隊 (希望者) ファミリーで大沢の自然を体験	J R「三田駅」無料バス フラワーパーク 954-1000

●希望者参加は事前に問い合わせてください。



●しあわせの村夏祭り

しあわせの村・夏祭りは7月31日(土)午後4時から芝生広場一帯で開催。中央緑道沿いに食べ物や手芸、野菜など約50の模擬店が並び、毎年4000人の人出でにぎわいます。午後7時から第2部の野外コンサート。ソプラニスト・岡本知高の美声で名曲の数々を楽しむことができます。わ本部も協賛。輪投げ・昔遊び・ペタンクなどを担当するほか、綿菓子・チューペット・野菜の店を出します。

●かえっこバザール 8月8日(日)は、子供たちが不



用になったおもちゃを交換するかえっこバザール。好きなものをゲットするチャンスです。

七夕さんの笹飾りを作ろうー
 わ主催のイベントが7月4日、フルーツフラワーパーク（北区）で開かれ、若いファミリーで終日にぎわいました。用意した200本の笹もなくなるほどの人気でした。お手伝いのスタッフは昔あそび研究会の23人とお話糸車の5人。子供たちは願い事を書いた短冊や折り紙をお母さんと一緒に飾りつけ「できたよ。きれいでしょ」とうれしそうでした。横のホールでは糸車が紙芝居やクイズを披露。大きな拍手を浴びていました。

七夕かざり作ったよ



雨の中、標本採集

あいにくの雨の中、ナデシコ・キキョウ、ツユクサ・オオバコなど約20種の草花を採集。研修館へ持ち帰って、インストラクターの坪井幸子さんや環境部会・ビオトープ会員の指導で標本づくりを楽しみました。

〈植物採集をして標本を作ろう〉という催しが7月11日（日）、しあわせの村ビオトープ周辺で開かれ親子連れら30人が参加しました。



水の科学館で

水の科学館（中央区）で5月1～3日の3日間、昔あそび研究会と一寸奉仕グループが出演。連休でにぎわう館内で子供たちと一緒に、折り紙・ぶんぶんゴマ・紙飛行機・風船あそびなどを楽しみました。連日100人を超す参加者があり、子供たちは熱心に折り紙に取り組んでいました。

イベントクス

昆虫採集に挑戦

こうべ環境未来館（西区）で毎月開かれているエコスクール。5月29日は親子づれ40人が未来館周辺でスタッフと一緒に昆虫採集に挑戦しました。チョウやトンボはまだ少なく、子供たちはちょっとがっかり。午後からは捕まえた昆虫の名前を調べ、標本にする代わりに昆虫のスケッチをして、みんなの前で発表しました。



(写真・南形徹)